

沖繩作戦
ニ於テ

第七野戦船舶廠
沖繩支廠史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三十三軍戦務整理部

部隊履歷ノ概要及戰鬥經過ノ概要

昭和二十年八月十五日 船舶司令部 軍隊已分駐 廣島三於
千編成完了

昭和十九年八月二十二日

海路 廣島 出航

昭和十九年八月二十二日

廣島 出航

昭和十九年八月三十一日

津島 本島 那覇 出航

昭和十九年九月一日

上陸 同時 二 算 部隊 入 居 下 二 入 居 (艦 隊)

昭和十九年十月十日

那覇 港 出航 入 居 資 材 二 出 航

昭和十九年十一月十日

軍 令 二 依 一 第 七 戰 艦 隊 長 官 官 署 基 礎

昭和二十年三月二十四日

指 揮 官 檢 査 第 一 船 組 隊 長 三 藤 原 二 任 務 遂 行 二

昭和二十年三月二十四日

津 島 本 島 船 組 隊 長 二 藤 原 二 任 務 遂 行 二

昭和二十年三月二十五日

首里東方三八高地陣地ニ配備完了。野地軍
司令部ニ連隊首里防衛隊長指揮下ニシテ

昭和二十年四月七日

八首里防衛ニ任スルト共ニ三十三軍兵營兵船
四一區處ヲ受ケ船舶及野戰兵器、修理補給ニ任
兵營函置班ニテ編成シ右兵團第一線部隊ト
共ニ行動シ敵残存兵器、函置收集ニ努ム

昭和二十年四月十日

昭和二十年四月十五日

①移動修理班ヲ編成、素川、與那原那霸派遣ス
那霸移動修理班ヲ強化シ②建造班ヲ編成、
那霸那覇工場内ニ於テ③建造ニ着手ス(約十
日ヲ同時ニ建造開始ス)

昭和二十年四月十八日

兵器函置班ヲ改編シ野戰兵器移動修理班
(火銃班、車輛班)ニテヲ編成シ兵器隊長ノ指
揮下ニ入ラス

昭和二十年四月二十九日

昭和二十年四月三十日

部隊主力ハ首里北側附近ニ陣地ヲ推進セラル
部隊主力ハ軍司令部附近ニ陣地交換ヲ命ゼラル

昭和二十年五月四日

昭和二十年五月十日

主力ヲ以テ軍司令部附近ニ於テ總攻撃ヲ實施ス
軍司令部附近ニ於テ戦線ヲ整理シ部隊主力ハ與
那原西側附近ニ陣地ヲ交換シ與那原地区ニ上陸
ニ上陸ヲ開始セル敵ニ對抗ス

昭和二十年五月十二日

支隊長ノ指揮スル一四〇名ヲ残置シ部隊全員ニ
四師団六十二師団ニ轉属ヲ命ゼラル同夜前線ニ
出發ス夫々各師団ノ指揮下ニ入ルト共ニ残員一四〇
名ハ兵器隊長ノ指揮下ニ入り兵器移動修理
應用兵器ノ建造ニ任ズ

昭和二十年五月二十八日

昭和二十年五月三十一日

軍司令部、南部地区ニ撤退準備、烏喜屋武三八
高地、陣地確保ヲ命ゼラル
南方地区直撃行ニ陣地交換ヲ命ゼラル同夜同移
動ヲ開始シ機銃移動完了ス
残存兵器ヲ蒐集シ應用ヲ指揮、對戰軍攻撃場
所ヲ指示シ補給ヲ開始ス

昭和二十年六月一日

昭和三十年六月十六日 真屋村ニ於テ敵戦車ノ攻撃ヲ受ケ戦斗ス。
 昭和三十年六月十七日 米須ノ線ニ戦線ヲ整理シ軍司令部隊ヲ護ニ任ズ。
 昭和三十年六月十八日 前日ニ引續キ主トシテ敵戦車部隊ノ攻撃ヲ受ケ
 第十四大隊ト協力同地ニ死守ス。
 年終廠長ノ命ニシテ部隊ハ解散本島ヲ方
 森林地ニ突破ヲ完遂ス。

昭和三十年六月二十日